

臨時委員会・ワーキンググループセッション I

ICRP次期主勧告セッション

1

1. 本セッションの趣旨と背景

佐々木 道也（国際対応委員会委員長）

2022年6月28日(火) 14:40-15:40

日本保健物理学会2022年度企画シンポジウム

背景

- ▶ 国際放射線防護委員会ICRPは2029年目途に次期主勧告の改定を進めており、関連TGの設立、ワークショップの開催、防護体系等に関する論文の公表などが順次と実施されている。
- ▶ 当学会が加盟している国際放射線防護学会IRPAは、2021年8月に「放射線防護体系の改定に関するTG」を立上げ、意見の吸い上げと整理・発信を行っている。
- ▶ 国際対応委員会は理事会と連携しつつ次期主勧告への対応を主導的に行っていくこととし(2021年9月)、理事会にも報告・確認。

国際対応委員会(2022/6/15)

委員長 (理事)	佐々木 道也	電力中央研究所
副委員長	藤田 博喜	原子力機構
幹事	藤通 有希	電力中央研究所
委員	阿南 徹	原子力安全技術センター
委員	石川 純也	杏林大学
委員	荻野 晴之	原子力規制庁 (2021年10月1日より就任)
委員	杉浦 紳之	千代田テクニカル
委員	西田 一隆	関西電力
委員	桧垣 正吾	東京大学
委員	森下 祐樹	原子力機構
委員	保田 浩志	広島大学原爆放射線医科学研究所

本セッションの趣旨

- 2021年12月の日本放射線安全管理学会、日本保健物理学会合同大会では、ICRPが論文「Fit for purpose」で提示した課題も参考に、日本保健物理学会の活動等について幅広く議論。
- ICRP主委員会の元委員の佐々木康人氏、丹羽太貫氏、日本放射線安全管理学会会長の中島覚氏、日本放射線影響学会会長の島田義也氏、日本リスク学会会長の村山武彦氏、ICRP主委員会委員の甲斐倫明先生らより貴重な意見を頂いた。
- 本セッションではICRPの現在の活動動向、国際対応委員会の活動、及び臨時委員会の検討状況を共有し、意見交換を行うこと目的とする。

ICRP次期主勧告セッション

1. 本セッションの背景と主旨
2. 国際放射線防護委員会ICRPの活動について
藤田 博喜（日本原子力研究開発機構）
3. ICRP勧告改定に向けての動向
甲斐 倫明（日本文理大学）
4. 国際対応委員会活動と臨時委員会設置
佐々木 道也（電力中央研究所）
5. 臨時委員会の活動（案）と自由討論
杉浦 紳之（千代田テクノル）
[指定発言者] 吉田 浩子（東北大学）、藤田 博喜